



10月4日 (火)

## マリア、泣かないで

聖書朗読 詩篇 17:14~19

主が行なわれた奇しみわざを思い起こせ。その奇跡と御口のさばきとを。

I 歴代史 16:12

「マリア、泣かないで」(o Mary don't you weep) は19世紀、アメリカ南北戦争以前から伝わる黒人霊歌で、1960年代のアメリカ公民権運動で盛んに歌われたものです。フィッシュ・ジュビリーからスワン・シルバートーンズ、アレサ・フランクリン、ブルース・スプリングスティーンまで、多くのアーティストによる録音があります。長調で歌われたものもありますし、短調のものもありますが、要するに同じことです。神様がご支配されているので、恐れることはないという内容です。

神様が私たちのことを忘れてしまったのではないかと、すぐ心配になります。この2年間、たくさんの孤独と別れがありました。しかし、この歌はラザロの物語を用いて、そのようなときに神様の奇しみわざを思い起こさせます。この歌の歌詞では、ヨハネの福音書11章で兄弟を亡くして泣いているマリアとマルタに、ファラオの軍は海に沈んだと言いつつ聞かせます。そして神様は確かにラザロを死からよみがえらせました。

聖書には、神様が真実のお方であることの証が多く書かれています。神様は何度もご自身の民を救い出されています。個人としての私たちにとって、おそらくより重要なのは、私たちの人生における神様の奇しみわざですが、私たちは、神様が祈りに応えてくださったことをすぐに忘れてしまいます。神様が、私が歩む道に人を備えてくださり、私が必要とするものを用意してくださるとき、それを単なる“偶然”と片づけてしまいがちですが、不確実で困難な時代に直面したときこそ、聖書と私たちの生活における神様の偉大なみわざを覚え、勇気を出しましょう！

聖歌 424

祈り 天国のお父様。大いなるみわざに感謝します。困難に直面したとき、あなたのいつくしみを覚え、それにお応えすることができますように助けてください。イエス様のお名前において。アーメン。

ジョシュ・ボイド

インディアナ州 ラファイエット

10月5日 (水)

## 近くて親しい

聖書朗読 詩篇 73:23~28

しかし私は絶えずあなたとともにいました。あなたは私の右の手をしっかりとつかまえられるました。あなたは、私をさとして導き、後には栄光のうちに受け入れてくださいましょう。

詩篇 73:23, 24

寒い冬がやってくると、かつては愛する母のものだった赤くてフワフワでフード付きのジャケットを着るのが楽しみです。母のコートに暖かく包まれて、公園や近所を歩いていると、母の腕が私を包んでくれているように感じます。母と私がお互いに抱いていた近ささと愛を思い出します。

天国のお父様は、ご自身の子どもたちが近くにいることを望んでいらっしゃいます。私たちが神様に近づくなら、神様は私たちに近づいてくださると、神様は言われます(ヤコブ4:8)。神様の近くにとどまるひとつの方法は、みことばを守ることです。聖書に書かれたみことばを心に秘めていると、どんな状況でも神様の愛を感じる助けになります。

祈ることもまた私たちが神様の近くに引き寄せてくれます。私たちがお父様に自分の苦しみと心の痛みをお伝えするとき、お父様が耳を傾け、私たちをいつくしんでくださることを知っています。御子を送ってくださり、私たちに数え切れないほどの御恵みを与えてくださるお父様に感謝します。

神様を信じる人たちとともに礼拝に出席することは、私たちが神様に近づくことができる時です。讃美、学び、祈りで神様をたたえることで、神様への愛をあらわします。クリスチャン同士が交わることは、神様に近づくことなのです。

神様は、神様とともに生きることでできる永遠のいのちを約束してくださっています。希望を持って、神様を礼拝するあらゆる理由が、私たちにはあるのです。

讃美歌 主は今生きておられる Because He Lives

祈り 天国のお父様。あなたに近づく努力をしているとき、私たちとともにいてください。御子を送ってくださり、ありがとうございます。イエス様の御名においてお祈りします。アーメン。

ジェーン・ポー・マッシー

テキサス州 ヒューストン

10月6日 (水)

## 良しとする時に

聖書朗読 詩篇 90

その現われを、神はご自分の良しとする時に示してくださいます。神は祝福に満ちた唯一の主権者、王の王、主の主。  
I テモテ I 6:15

神様が時間を超越し、また時間を創造されたということは、私たちの理解を超えたことです。ヤハウエの神様は、時間を超越し、永遠で不滅の、始まりも終わりもないお方でありながら、ご自身を時間の中に投入されます。神様が創造されるものはすべて時間に支配され、拘束されています。神様がどのようにして永遠であり、かつ一時的であり得るのかと不思議に思いますが、そのことが私たちを、疑いではなく、信仰に満ちた礼拝へと導くのです。神様は昼と夜、季節、宇宙など、すべて時間によって正確に予測できるものを創造されました。

神様の霊を受けてソロモンは「すべての営みには時がある。」と書きました。神様は良しとする時をご存じなので、神様の時期に間違いはありません。私たちがこれらのことを理解できないとき、神様は私たちに忍耐強くいてくださいますが、私たちにでも、次のことはわかります。

「しかし時が満ちて、神はご自分の御子を、女から生まれた者として (中略) 遣わされました。」ガラテヤ4:4

聖歌 517

祈り 私たちの父なるヤハウエの神様、私たちが知っているように、あなたは世の初めからご自身を現して下さっています。私たちの人生のすべての場面を通して私たちとともに歩んでください。その後、天の故郷に伴ってください。イエス様のお名前においてお祈りします。アーメン。

ボブ・マイズ  
テキサス州 ラボック

10月7日(金)

## 主は今も王である

聖書朗読 詩篇 93 篇

天は喜び、地はこおどりせよ。国々の中で言え。主は王である。

I 歴代史 16:31

私がこれを書いている今、ウクライナとロシアが戦争をしています。この戦争は世界で最初の戦争ではありませんし、最後の戦争となる可能性は低いです。誰もが戦争の悲惨さと破壊を目の当たりにしています。何年前に有名なラジオ番組の司会者がこう言いました。「戦争の目的は2つ。一つ目は、人を殺すこと。2つ目は、破壊すること。」今回の戦争ではまさしくそれが実行されています。

人の作ったルールは、いくら良いものでも欠けがあります。指導者たちは、賞賛されることや人々の記憶に残ることなどを求め、どんな代価を払ってでもより上を目指し、自らの利権を優先しがちです。権力によって盲目になった指導者たちは、自分たちの「統治」が最高のものだと勘違いしてしまいます。

全てのクリスチャンが心に留め、希望となる言葉は「主は総べ治められる」です。これは、今この時の私たちを取り巻く胸が張り裂けそうなカオスの中で、確実に真実なことです。この世の指導者たちの地位は、結局のところ「総べ治められる主」の前ではつまらないものなのです。ロシア、中国、欧州連合、国際連合、独裁者、天皇陛下、大統領であってもです。

人類の武器は強力で人々を恐怖に晒します。しかし、力を落とさないでください。主は「威光を纏い、力を帯びとし、とどろきに勝る」お方であられ、今も総べ治められています。

讃美歌 461

祈り 親愛なる主よ。人間の不確かな支配が私たちの心を脅かせる時、総べ治められる主であるあなた様に信頼することができますように。イエス様のお名前で、信じてお祈りいたします。アーメン。

ベン・マレネス  
テキサス州 アマリロ

10月8日(土)

## 困難な中で神をほめたたえる

聖書朗読 詩篇 135:1~5

神が私を殺しても、私は神を待ち望み、

ヨブ記 13:15

神様を崇めるのが難しい時があります。私は母の連れ子でしたので、父とは血が繋がっていませんでしたが、父が癌で余命が幾ばくもなかった時 神様を崇めることは非常に難しいことでした。私を育ててくれた人が苦しんでいる様子を目の当たりにし、神様を崇める気分には到底なれませんでした。

しかし、そうすべきであるのは分かっていました。父は私に信仰深くあり続けるように願っている事は知っていました。また、私が気を確かに持ち、神様に信頼し続けるには、神様は善いお方であると何度も思い起こさなければならぬと分かっていました。そのためには神様を崇める続ける事が唯一の方法だったのです。

ですから私は泣いてしまうまで賛美歌を歌い、再び歌えるようになるまで泣き、そしてまた歌ったのです。私が苦痛と涙の只中にいた時神様を崇めました。この時の大変な経験から価値ある真実を学び取りました。それは、神様は癒やしてくださる、ということです。神様はご自身で述べているようにどこからどこまでも善い方です。私たちが神様を崇める時、そばにいて下さり、愛で満ちた腕の中に私たちの心を引き上げてくださいます。

今あなたは何かの問題の只中にいるかもしれません。神様を崇めてください。もし、あなたの1日が悪い日であったとしても神様は善い方です。あなたがいかなる日を過ごそうとも、神様を崇めましょう。何故なら、神様は善い方だからです。

讃美歌 87B

祈り 主なる神様。悲しさに満ちた壊れた世の中であなただけが喜びの希望のそんざいでられます。あなたの善を私たちにください。私たちの唇がいつもあなたをほめたたえ、賛美の歌を歌わせてください。イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

イーサン・ブラウン  
ノースカロライナ州 ヘンダーソンビル

10月9日(日)

## 感じとれる？

聖書朗読 詩篇 147:1~11

主を恐れる者と御恵みを待ち望む者とを主は好まれる。

詩篇 147:11

コロナ禍でマスク着用義務があった頃、「感じとれる？」というゲームを作って遊びました。マスクをし、テーブルを挟んで向かい合って座り、相手の目を見ます。そして相手がポジティブ(肯定的)な事を考えているか、ネガティブ(否定的)な事を考えているかを1回ずつ当てるというものです。このゲームで話をするのは禁止されていましたが、相手が考えているのがポジティブな事かネガティブな事が感じる事ができたのです。

神様に祈る時に、神様と顔を合わせて向き合い神様への尊厳の思いと尽きることのない愛への望みだけを考えてみてください。主がいてくださることを喜びましょう。霊と真実を持って礼拝しましょう。神様に喜びや楽しい思いを捧げましょう。私たちが最大の畏敬の念を神様に持っていると感じていただきましょう。

神様に対する畏敬の念と確実な愛という希望を一日中持ち続けていきましょう。そうすることによって、私たちの周りで起こっていることに対する見方や、問題が生じた時の対処の仕方や、人への接し方、愛し方が変わってくるのではないのでしょうか。私の神に対する畏敬の思いを、あなたは感じ取れますか？

讃美歌 267

祈り 親愛なる天の神よ。あなたに自分の顔を向けます。あなたが注いで下さった全ての祝福を賛美にしてお返しいたします。あなたとあなたの普遍的な愛に希望を置いています。イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

サンデ・ドーリティ  
カリフォルニア州 マリブ